

会 議 録

会議の名称	中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）の修正案について 市民説明会
日時	平成 28 年 5 月 22 日(日) 午後 3 時 00 分～午後 3 時 35 分
会場	中野市立倭小学校体育館
出席者等	・参加者 22 人 ・教育委員会出席者 7 人 教育長、教育委員 2 人 学校教育課長補佐、事務局 3 人 ・報道機関 1 人 （北信ローカル）
次第	1 開会 2 あいさつ 3 基本方針（案）修正案について 4 質疑 5 閉会
その他	添付資料：基本方針（案）修正案 北部地区小学校統合計画敷地配置図（案）、通学距離 発言内容は別紙のとおり

(別紙)

中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）の修正案について市民説明会

日時 平成 28 年 5 月 22 日（日）
午後 3 時 00 分～午後 3 時 35 分
会場 中野市立倭小学校体育館

- 1 開会（PM3:00）
 - ・進行：課長補佐
- 2 あいさつ
 - ・教育長あいさつ
- 3 基本方針（案）について
 - ・課長補佐から資料の説明
- 4 質疑

意見

- まずは統合という方向性ということで進めていただきありがとうございます。質問ということで一点お聞きしたいのですが、平成 32 年度に高社中学校区の統合校が開校と出ております。私が記憶する限り最初は平成 30 年度だったのですが、2 年間延びた理由と、今話を聞いている段階ですと、まだ決定したわけではない、場所もまだ未確定だとおっしゃる理由をお伺いします。

回答

- 開校が延びた理由についてですが、まず資料の一番最後の 8 ページをご覧くださいと、基本方針の決定（最終）が平成 27 年 11 月となっていました。基本方針の決定が順調にいった場合、平成 30 年度統合校開校と考えていたのですが、多くの方のご意見を聴くために保護者説明会等を実施したということで、日程がずれてきております。また、仮称統合準備委員会で、なるべく細かい部分について話し合いを持ちたいというのがございまして、平成 32 年度統合小学校開校としていますが、実はもっと早く前倒しをして欲しいというご意見もあり、このスケジュールで行くと平成 30 年度開校というのは無理がありますが、31 年度開校が決定したらの話ですけれど、前倒しはできると考えています。

意見

- 未確定という話もあったのですが、場所も先程の説明ですと、まだ決まったわけではないとおっしゃっていて、でもこういった資料に載せているのだから当然この方向になるのかなと思うのですが。

回答

- 決まったわけではないという説明がいけなかったのですけれども、今回の修正案を見ていただいても分かりますが、場所は平岡小とするということは変わってないのです。決まってないと言うのはこの図面にある教室などの配置です。この配置はあくまでも目安としてお示ししています。前回の市民説明会の時に統合したら教室が足りないのではないかというようなご意見がありましたので、今回は統合しても問題はないということでお出ししてございます。
- 今のご意見に少し補足させていただきます。前段の2年ずれたのはなぜかという話であります。今説明したように非常に緊急の課題である、一時も早く。前倒しという表現を使いましたが1年でも早くやって下さいと、こういうご意見も結構ございます。ですので、皆さんにご理解を得られれば、1年でも前倒しは可能になるかと思えます。(仮称) 統合準備委員会この部分も色々な立場の皆さんにお入りいただいて検討いただくわけですが、この部分でも一時も早くというようにお進めいただければ、当然前倒しになる可能性はあります。
- もうひとつは平岡小の位置でございますが、改めて北部地区全部回りまして皆さんのご意見聞いて平岡で良いよというお話になれば、平岡小へ統合していくという方向で考えていきたいと思っております。

意見

- 今のお話に追加と言うか意見的なのですけれど、スケジュールに沿って統合準備委員会を開きスケジュールが決まった段階で、早急に工事なり進むともう少し早くなるのではないかと。例がとんで申し訳ないが、震災が起きた時に緊急避難的に他の学校に子ども達を預けるという教育の場を設けるというのは日本中各地でやられているわけで、そういう緊急な状況を考えてとできないことではないのかなと。本気で考えれば子ども達の教育にとってこれが良いのだと考えた結果であれば、早急に緊急的にやるべきで、もう少しスケジュールは変えないと。私は統合した方が良いとかしない方が良いとかその意見より、一番良いベストな状況が決まったのであればもっと早く進めてほしいなと思えます。

回答

- ありがとうございます。今のはご意見としてお伺いいたします。

意見

- スケジュール的に平成32年開校というのは、私の子どもが今2年生でいるのですが、それが6年生の時だというふうに考えています。この説明会をやっていただく前にも北部公民館

でお話させていただいて、現在2年生の子どもが3人という現状もお話させていただきました。そういった中で保護者の方の意見があったからこそ、こういった方向性と説明会がされると私は考えております。そういったことも含めてやっていただいたのであれば、32年の6年生（この前の資料に載っていたと思いますけれど）この学年が高社地区で言うと割と多いのですね。倭小学校だけが極端に3人というのが目立ちますけれど、他の学年はどうかという割とこの年ほど多くはなく2クラスとかで収まるところがこの年だけは3クラスになってしまう人数であると。ひとつ不安として思うのが6年の最後の1年で、6年生の中で色々考えを持つ時期に3人を大きな人数の中に入れていくという不安はあります。もしその中で考えていただくというのであれば早いのに越したことはないと思っていたのですが、まだ準備が整わない色々ご意見があるということであれば保護者としての勝手な意見ですが、慌てなくてもいいかなというのがひとつあります。なにもこのまま小学校で仲良くやってもらって、そのあと合併の事はゆっくり考えていただいても良いのかなと個人的な話であくまで要望です。勝手な私一人の意見なのでその意見を通せということは全くございません。ただ可能であれば一つ頭の中に入れていただければというのが本音です。ずっと3人でやっていけるのかと不安はありましたが、ここに来て5年6年で合併するのは良いのかな、なんて思うこともありました。なので進めていただけるようであれば意見は通じたことなのだなと感謝しておりますが、ここにきて先になるのかそういうことであれば慌てなくてゆっくり論議していただければ良いのかなという感傷的な考えですみません。良いことか悪いことか分からなくなってきたので、当然3人の中の学校というのは非情な状況の教育だなと認識していたのですが、そこら辺を含めて考えていただければと思いますので要望ですがよろしく願いいたします。

回答

- 倭小に限ったことではないのですが、3人、4人、5人、6人、たとえ1人でもマンツーマンでも学校が成り立つとおっしゃる方がいるのですが、これはちょっと色々な実際の教育活動の現場の声、先生方の声、校長先生のお聞きすると非常に困っているし、責任をもってこの子どもたちの学力、集団での人間関係作りとか色々な点で力をつけさせてあげたい。基礎的な力をつけなければいけないのだとご意見としてありました。今おっしゃるのは区切りのところで心配なさっているということで、ご意見としてお聞きしておきます。

回答

- 統合関係には直接関係ない話ですが、倭地区の皆さんには申し上げたいことがございます。つい先日の資源回収におきまして、ボランティアの皆さんだけでなく、地域の皆さん組長さんなど、多くの方がご協力をしていただいて、大変感謝申し上げます。常々申しておりますように、中野市で一番ボランティアの組織が古くガッチリとしております。支援部、支援事業部もあり、倭財産区の区有林で、森林組合の皆さんや山岳会の皆さんをお呼びして非常に良い体験学習をなさっており、他の小中学校へも紹介して参りたいと思っております。コミュニティスクールの話が出ると、倭小の話をしませんが、地域の方には感謝しております。

意見

- 今のお話しについてですが、私も倭小学校がまた地域の皆さんが携わっている様々な行事とか活動、非常に市内でもまれな状況だと思う。とても良いことだと思っているのですがこれが統合されたことによって萎縮するとか内容がやらなくても良いような環境に行くのは非常に反対の立場です。この倭小学校の活動、地域のつながり、子どもたちの密着度、先生との対話の状況は統合後も維持されなければいけないと思っております。逆に疎遠な地域にもっと倭の良いところをアピールされるような統合であってほしいと思います。

回答

- 高社中学校のブロックでのコミュニティスクールでは、学校支援のボランティアの皆様とか、学習支援方など、色々と組織を固めつつあります。29年度には中野市内の全小中学校で信州型コミュニティスクールが立ち上がります。もし統合という形になればそれぞれの現小学校での支援ボランティアの皆さん、そういう組織は大事にそのまま継続で活かしていくと。PTAの組織とも連動します。しっかりとそういったところを準備委員会で議論していただきたいと思っています。

5 閉会 (3:35)